

まほらいな市民大学の様子

令和6年2月2日（金）美篤ふるさと講座

## 『 「美篤の歌」 でふるさとを学ぶ 』

講師 伊那ビデオクラブ会長（元美篤公民館長）赤羽 仁 氏  
ピアノ弾き語り 有賀千づる 氏



「美篤の歌」は昭和21年7月18日に発表され、長く歌い継がれてきている。講師の赤羽 仁 氏からは、12番まである「美篤の歌」に出てくる美篤の自然や地形、古くから伝わる歴史、寺社と祭り、学校と人々の暮らしなどについて、写真や映像を通して話がありました。「六道原」「六道の森」「一番井」「六道堤」「天神山」「二番井」「美篤小学校」など、その詳細について熱く語られました。また、「美篤の歌」の作詞者は赤羽源一さんであり、作曲者は長らく不明であったが平成25年3月に羽場匡雄さんであることが判明したこと。また、有賀千づる氏は古老がうたった歌をテープに録音し、譜面におこして、平成13年にご自身の弾き語りでCDに仕上げられました。今回の講座では、有賀千づる氏がピアノの弾き語りで「美篤の歌」を披露されました。最後に赤羽 仁 氏が新しくビデオ編集した「美篤の歌」の映像が映し出され、美篤の歴史を学び、故郷に愛着をもって「美篤の歌」を歌い継いでいってほしいと話されました。

学生からは「郷土愛に満ちた講演でした。郷土の歴史をさかのぼり、先人の苦勞を知り、それを語り継ごうとする活動は素晴らしいと思います。」「美篤の歌が地域のすべてを表していて感動しました。私の地域にもこのような歌があればと思いました。」「赤羽先生の郷土愛溢れる美篤の変遷を拝聴でき、また有賀先生の美しいメロディーと美声にすっかり聴き惚れてしまいました。」といった感想がありました。